

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35  
お問い合わせはお客様ご相談センターへ  
東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Printed in Japan

SONY MZ-B3 (J) 3-798-610-02(2)

**SONY**®

3-798-610-02(2)

# ポータブルミニディスク レコーダー

## 取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

**△警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



**MZ-B3**

©1995 by Sony Corporation

SONY MZ-B3 (J) 3-798-610-02(2)

#### ご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。  
(お問い合わせ先  
(社)私的録音補償金管理協会  
Tel. 03-5353-0336)
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ポータブルミニディスクレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

## 主な特長

本機はソニーが開発したミニディスクフォーマットを採用したポータブルミニディスクレコーダーです。

- モノラルでの長時間録音、再生  
モノラル録音により、最大148分録音、再生ができます。最大74分のステレオ録音、再生もできます。
- マイクとスピーカー内蔵  
手軽に持ち運んで録音し、その場で再生音を聞くことができます。
- デジタルVOR（自動音声スタート）機能  
ある大きさ以上の音を検知して、自動的に録音が始まり、それ以下になると録音が止まります。メモリーの働きで頭切れが少なく、口述録音に便利です。
- 速聞き再生機能  
通常の再生の約1.6倍と約2.2倍に切り換えて再生でき、ディスクを聞く時間を短縮できます。
- 2種類の頭出しマーク  
録音後に探す目的に応じて、録音中に2種類の頭出しマークをつけることができます。
- 現在位置を表示するポジションポインター  
ディスク上の現在位置や録音済み部分での現在位置が表示窓で確認できます。
- デート機能  
録音日時を自動的に記録します。
- タイトル表示機能  
ディスク名や録音内容の名前（曲名など）を見ることができます。

# 目次

---

録音する .....	6
再生する .....	8
いろいろな録音のしかた .....	10
音がしたとき自動的に録音を始める（デジタルVOR機能） .....	10
外部マイクをつないでステレオ録音する .....	11
他の機器から録音する .....	12
録音中に頭出しマークをつける .....	13
録音に便利な機能を使う .....	15
録音中の音を聞く .....	15
録音状態を確認する .....	15
録音したものを誤って消さないために .....	15
録音できる残り時間などを見る .....	16
録音日時を記録する（時計合わせ） .....	17
いろいろな再生のしかた .....	19
ディスクを速聞きする .....	19
くりかえし聞く（リピート再生） .....	19
再生に便利な機能を使う .....	20
経過時間や録音内容の名前を見る .....	20
誤操作を防ぐ（ホールド機能） .....	21
お持ちの機器と接続する .....	22

---

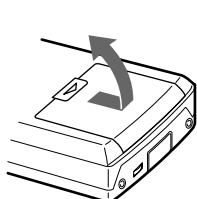
---

録音したミニディスクを編集する .....	23
頭出しマークをつける .....	23
頭出しマークを消す .....	24
ひと区切りの録音内容をまるごと消す .....	25
ミニディスク全体を一度に消す .....	26
<hr/>	
電源について .....	27
コンセントにつないで使う .....	27
充電式リチウムイオン電池を使う .....	27
<hr/>	
その他 .....	29
使用上のご注意 .....	29
故障かな？と思ったら .....	31
システム上の制約による症状と原因 .....	33
エラー表示一覧 .....	35
保証書とアフターサービス .....	36
主な仕様 .....	37
解説 ミニディスクについて .....	39
各部のなまえ .....	41
<hr/>	
Operating Instructions .....	44

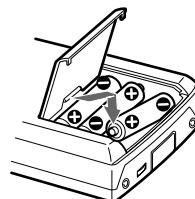
# 録音する

内蔵マイクから録音します。録音はモノラルで、74分用ディスクでは148分、60分用ディスクでは120分録音できます。

## 1 アルカリ乾電池を入れる

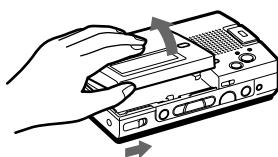


(底  
面)

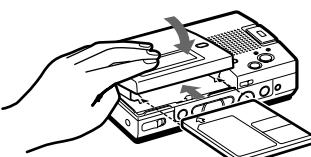


単3形アルカリ乾電池3本(付  
属)

## 2 録音用ミニディスクを入れる

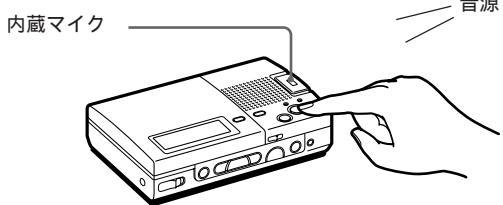


①開くスイッチを右にずら  
し、手でふたを開ける。



②ディスクのラベル面を  
上にして奥まで押し入  
れ、ふたを閉める。

### 3 録音する



●録音ボタンを押す。  
「REC」と「MONO」表示が出  
て、ディスクの最初から録音が始ま  
ります。録音される音の大きさは自  
動的に調節されます。

止めるには、■ボタンを押す。  
「Toc Edit」表示が点滅し、録音内容  
の情報（録音内容の開始・終了位置な  
ど）をディスクに記録します。表示の  
点滅中は、ゆすったり、たたいたり、  
電源を抜いたりしないでください。  
記録が終わると●録音ボタンがもと  
に戻ります。

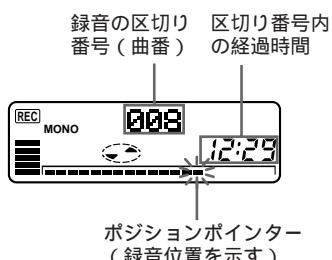
こんなときは	操作
一時停止する	■を押す。 もう一度押すと解除 されます。
録音済み部分の後 に新しい録音をす る	エンドサーチボタン を押してから●録音 ボタンを押す。
録音済み部分の途 中から新しい録音 をする	▶、▶または ◀◀を押して録音を 始めたい位置で■を 押す。次に●録音ボ タンを押す。
ディスクを取り出 す	■を押してからふた を開ける。*

\* ふたを開けると、次の録音はディスク  
の最初から始まります。録音済みディ  
スクに新しい録音をするときは表示窓  
で開始位置を確認してください。

録音が始まられないときは  
•ホールド（誤操作を防ぐ）機能が働いて  
いませんか（21ページ）。  
•ディスクが誤消去防止状態になっていま  
せんか（15ページ）。

乾電池の持続時間は  
新しいアルカリ乾電池で録音すると、約  
3時間もちます。

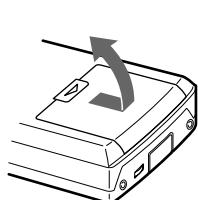
#### 録音位置を確認できます



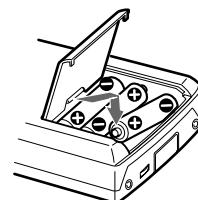
# 再生する

録音したミニディスクや再生専用ミニディスクを再生します。スピーカーの音はモノラルですが、ステレオヘッドホン（別売り）を使うとステレオ録音のものはステレオで聞くことができます。

## 1 アルカリ乾電池を入れる

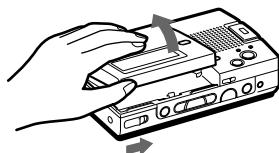


(底面)

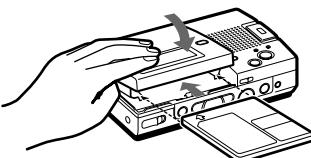


単3形アルカリ乾電池3本（付属）

## 2 ミニディスクを入れる

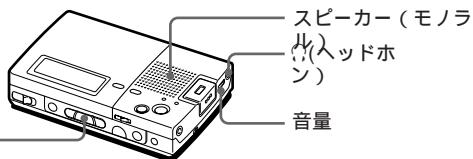


① 開くスイッチを右にずらし、手でふたを開ける。



② ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。

### 3 聞く



- ① ▶ボタンを押す。  
ディスクの最初から再生が始ま  
ります。  
ステレオまたはモノラルで録音  
されたものを自動的に切り換え  
て再生します。

- ② 音量つまみをまわして音量を  
調節する。  
止めるには、■ボタンを押す。

こんなときは	操作
一時停止する	■を押す。 もう一度押すと解除 されます。
今聞いている内容 を頭出しそる	◀◀を短くチョンと 押す。
次の内容を頭出しそる	▶▶を短くチョンと 押す。
再生しながら早戻 しする*	◀◀を押したままに する。
再生しながら早送 りする*	▶▶を押したままに する。
ディスクを取り出 す	■を押してからふた を開ける。**

- \* 一時停止（■）して◀◀または▶▶を  
押し続けると、再生音を聞かずに高速  
で早戻しや早送りができます。  
\*\* ふたを開けると、次の再生はディスク  
の最初から始まります。

ステレオで聞くには  
ステレオヘッドホン（別売り）を□ジャック  
につなぎます。

再生が始められないときは  
ホールド（誤操作を防ぐ）機能が働いて  
いませんか（21ページ）。

乾電池の持続時間は  
新しいアルカリ乾電池で再生すると、約  
6時間もちます。

#### 再生位置を確認できます

録音の区切り番号（曲 区切り番号内  
番）または文字情報（曲 の経過時間  
名）\*



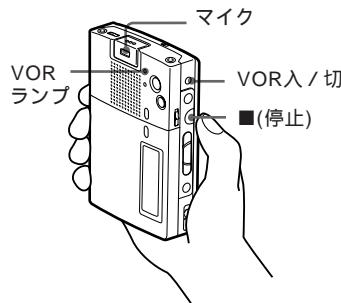
ポジションポインター  
(再生位置を示す)

- \* 文字情報を記録しているディスク（市  
販の音楽ソフトなど）のときのみ表示  
します。

## ▶いろいろな録音のしかた

### 音がしたとき自動的に録音を始める (デジタルVOR機能)

デジタルVOR機能を使って録音すると、途中で一時停止する手間がはぶけます。口述録音するときに便利です。



- 1 録音用ミニディスクを入れ、録音を始める。  
録音のしかたは「録音する」  
(6ページ)を参照してください。
- 2 VOR入/切ボタンを押して、「入」にする。  
VORランプが点灯します。
- 3 マイクを口から10cm位のところにして、話す。  
本体を手に持って、マイクを口に近づけてください。声が録音されているときはVORランプが点灯し、録音されていないときは点滅します。

デジタルVOR機能を解除するにはVOR入/切ボタンを押します。VORランプが消えて通常の録音に切り換わります。

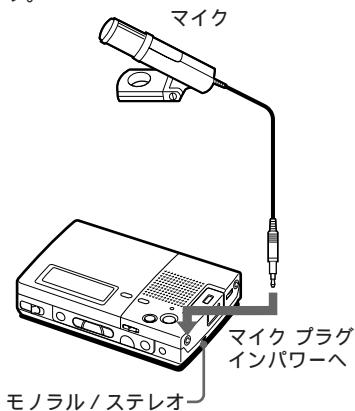
録音が終わったら  
■ボタンを押します。次に録音するときは、通常の録音になります。

#### ご注意

- マイク プラグインパワージャックに別売りの外部マイクがつながれていると、内蔵マイクからは録音できません。
- 本機のデジタルVOR機能は口述録音用に設定されています。会議などの録音には適しません。
- VORが働いていると、声が録音されていないとき(VORランプが点滅しているとき)でも電池は消耗しています。

## 外部マイクをつないでステレオ録音する

ステレオマイクECM-TS120、ECM-909A、ECM-727Pなど(別売り)を使ってステレオで録音できます。  
74分用ディスクでは74分、60分用ディスクでは60分録音できます。



- 1 マイクをマイク プラグインパワージャックにつなぐ。
- 2 モノラル / ステレオスイッチをステレオにする。
- 3 録音用ミニディスクを入れて、録音を始める。  
録音のしかたは「録音する」(6ページ)を参照してください。

録音を始めると「STEREO」表

示が出来ます。

録音を止めるには  
■ボタンを押します。

長時間録音するには  
モノラル / ステレオスイッチをモノラルにします。74分ディスクでは148分、60分用ディスクでは120分録音できます。

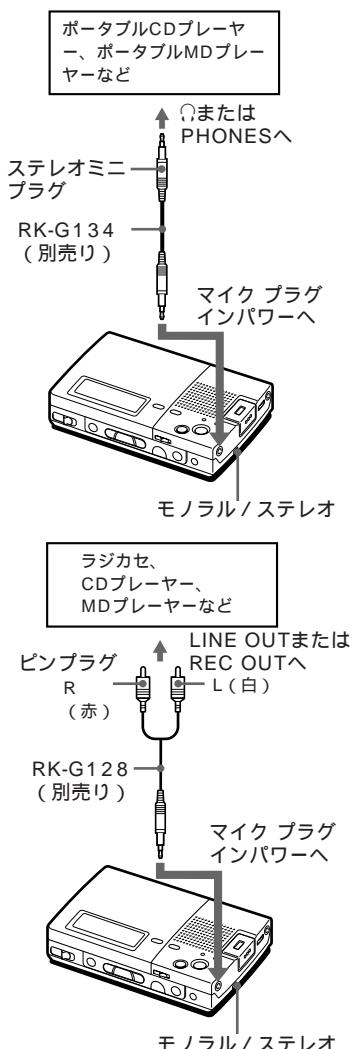
モノラルマイクを使って録音するには  
モノラルマイクECM-T140、ECM-T110など(別売り)を使い、モノラル / ステレオスイッチをモノラルに合わせます。

### ご注意

- モノラル / ステレオスイッチはマイク プラグインパワージャックにマイクをつないだときにのみ、働きます。
- ステレオマイクをつないでモノラル / ステレオスイッチをモノラルに合わせると、左右両方のチャンネルの音が混ざってモノラルで録音されます。
- モノラルマイクをつないでモノラル / ステレオスイッチをステレオに合わせたときは、左チャンネルのみ、音が録音されます。
- 本機でモノラル録音したものを他のMDレコーダーやMDプレーヤーで再生する場合、モノラル再生に対応していない機器では再生できません。

## 他の機器から録音する

別売りの接続コードRK-G134またはRK-G128を使います。



12

1 別売りの接続コードを本体のマイク プラグインパワージャックにつなぎます。

2 モノラル / ステレオスイッチをステレオに合わせる。

3 録音用ミニディスクを入れて、録音を始める。  
録音のしかたは「録音する」(6ページ)を参照してください。  
録音を始めると「STEREO」表示が出ます。

4 録音したいCDやテープを再生する。

録音を止めるには  
■ボタンを押します。

長時間録音するには  
モノラル / ステレオスイッチをモノラルにします。74分ディスクでは148分、60分用ディスクでは120分録音できます。

モノラルテープレコーダーなどから録音するには  
別売りの接続コードRK-G135、RK-G64などをモノラルテープレコーダーなどのイヤホンジャックにつなぎ、モノラル / ステレオスイッチをモノラルに合わせます。

### ご注意

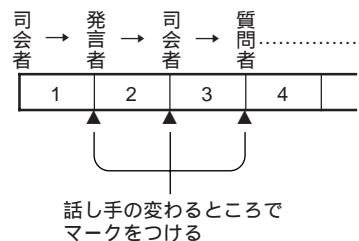
- モノラル機器をつないでモノラル / ステレオスイッチをステレオに合わせたときは、左チャンネルのみ、音が録音されます。
- 本機でモノラル録音したものを他のMDレコーダーやMDプレーヤーで再生する場合、モノラル再生に対応していない機器では再生できません。

## 録音中に頭出しマークをつける

### 録音の区切りに頭出しマークをつける

会議やインタビューなどを録音するとき、話し手が変わるとこころに録音の区切りとなる頭出しマークをつけておくと、録音後に頭出しして探せます。

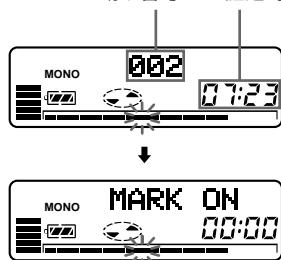
本体およびリモコンでマークをつけることができます。リモコンを使うときは、本体のトラックマーク（録音）／ポーズジャックにリモコンをつなぎます。



録音中に、マークをつけたいところで本体のトラックマークボタンまたはリモコンのTRACK MARKボタンを押す。

録音の区切り番号が1つ増え、そこから次の区切りとして記録されます。

マークをつけたときに「MARK ON」表示が出て、録音ランプが点滅します。 録音の区切り番号 内の経過時間



録音後にマークをつけることもできます  
「頭出しマークをつける」(23ページ)  
を参照してください。

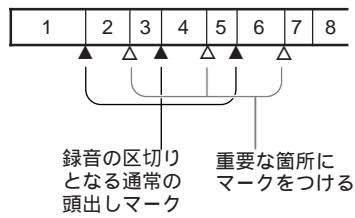
つけたマークを消すには  
「頭出しマークを消す」(24ページ)を  
参照してください。

つけたマークを探して聞くには  
再生中に◀◀ / ▶▶ボタンを短くチョン  
と押して頭出しをします。  
重要な箇所を示す頭出しマーク(14ペー  
ジ)も含めて頭出しされます。

次のページに続く→

## 重要な箇所に頭出ししマークをつける

会議やインタビューなどを録音するとき、録音の区切りとなる通常の頭出しマークをつけるのと同時に「ここは重要」と思ったところに重要な箇所を示す頭出しマークをつけることができます。録音後、通常の頭出しマークとは別に探せます。録音中に、リモコンでのみマークをつけることができます。



録音中に、重要な箇所を示す頭出しマークをつけたいところで、リモコンのTRACK MARKボタンを続けて2回押す。録音の区切り番号が1つ増え、そこから次の内容として記録されます。2回押すと「!MARK ON!」表示が出て、録音ランプが点滅します。



14

### ご注意

TRACK MARKボタンは1秒以内に2回続けて押してください。ボタンを1回押して1秒以上経ってから2回目を押すと、録音の区切りとなる通常の頭出しマークが2つつくことになります。

録音後にはつけられません  
重要な箇所を示す頭出しマークは録音中にのみ、つけることができます。

つけた重要マークを消すには  
「頭出しマークを消す」(24ページ)を参照してください。

つけた重要マークを探して聞くには  
再生中に、VOR入／切ボタンを押しながら◀◀または▶▶ボタンを短くチョンと押します。録音の区切り番号に続いて重要マークが表示されます。



VOR入／切ボタンを押しながら◀◀を押すと前のマーク、▶▶を押すと次のマークを頭出しして再生します。

### 頭出しマークについて

頭出しマークの数は  
1枚のミニディスクに2種類の頭出しマークを合わせて254個までつけられます。

録音の区切り番号と曲番は同じものです  
本機でつけられる頭出しマーク（録音の区切りとなる通常のマークと重要マーク）は、音楽などを録音するときの頭出しマーク（曲番）のことです。本機で音楽などを録音するときは曲番として使えます。

## 録音に便利な機能を使う

### 録音中の音を聞く

□ジャックに別売りのヘッドホンをつなぎます。ステレオで録音しているものは、ステレオで聞くことができます。

聞こえる音の大きさは音量つまみで調節できます。ただし、録音される音の大きさには影響しません。

### 録音状態を確認する

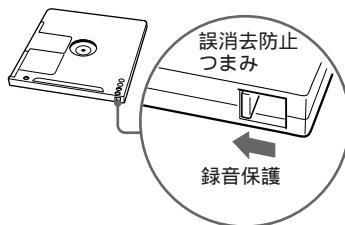
録音ランプが点滅して、録音の状態をお知らせします。

録音の状態	録音ランプ
録音中	音の強弱に合わせて点滅(ボイスミラー)
録音一時停止	点滅
録音中、ディスクが残り3分以下のとき	ゆっくり点滅

### 録音したものを誤って消さないために

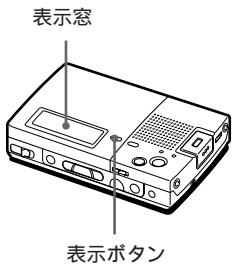
誤消去防止つまみをずらして、穴が開いた状態にします。再び録音するときはつまみをもとに戻します。

ディスク裏面

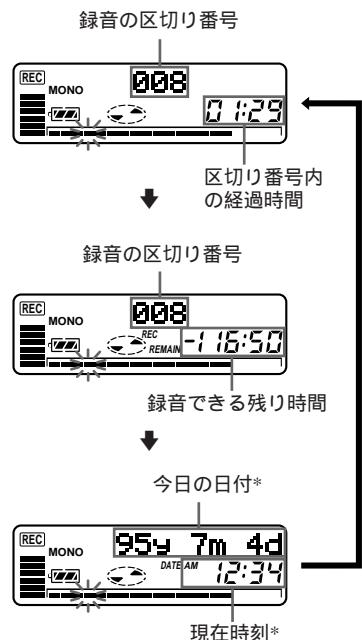


次のページに続く→

録音できる残り時間などを  
見る

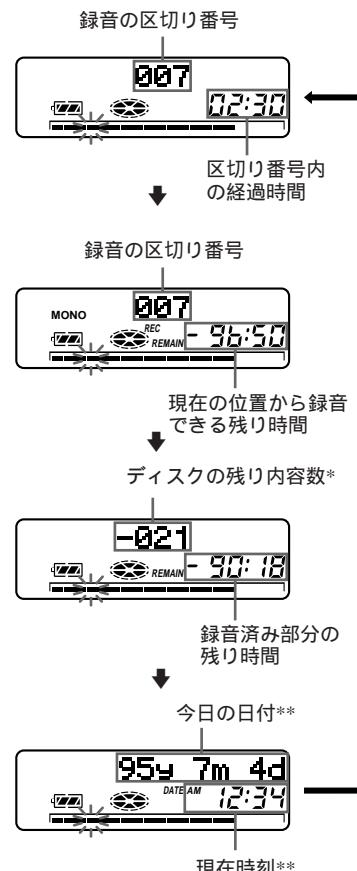


- 録音中  
表示ボタンを押すたびに表示は次  
のように変わります。



\* 時計を合わせてあるときのみ、表示し  
ます。

- 停止中  
表示ボタンを押すたびに表示は次  
のように変わります。

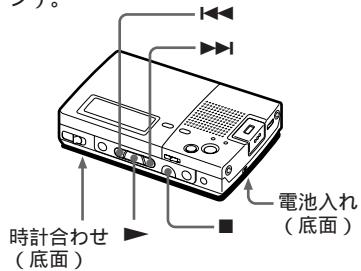


\* 文字情報を記録しているディスク（市販の音楽ソフトなど）のときのみディスク名を表示します。

\*\* 時計を合わせてあるときのみ、表示し  
ます。

## 録音日時を記録する(時計合わせ)

時計を合わせておくと、録音を始めたときと頭出しまークをつけたときに自動的に録音日時が記録されます。初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、時計を合わせた後、内蔵の時計用充電池を充電してください。(18ページ)。



- 1 電源をつなぐ。  
付属の単3形アルカリ乾電池3本を入れます。
- 2 時計合わせボタンを押す。  
シャープペンの先など細いもので押します。



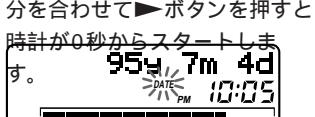
現在時刻

- 3 ◀◀または▶▶ボタンを押し  
て年を合わせる。  
ボタンを押したままにすると数  
字が速く進みます。

- 4 ▶ボタンを押して確定する。



- 5 手順3、4をくりかえして月、  
日、時、分を合わせる。



途中でまちがえたときは  
■ボタンを押し、もう一度手順2からやりなおしてください。変更する必要がないものは▶ボタンを押すと先に進めます。

- 時計表示について
  - 現在の日時を表示するには  
本機が動作していないときまたは録音中に、日時を表示するまで表示ボタンをくりかえし押します。約10秒後に表示は消えます。
  - 時計を24時間表示に変えるには  
時計合わせをしている間に、表示ボタンを押します。12時間表示に戻すには、もう一度表示ボタンを押します。

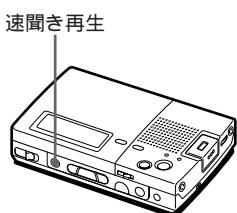
## 内蔵の時計用充電池を充電する

時計を合わせたら、乾電池を約2時間入れたままにして充電します。その間本機をお使いになることもあります。一度充電すると、電源につないでいなくても充電池は約1カ月間使えます。通常は、乾電池やコンセント、充電式電池のいずれかの電源につないでいれば、自動的に内蔵電池を充電するので、あらためて充電する必要はありません。

## ▶いろいろな再生のしかた

### ディスクを速聞きする

ディスクを聞く時間を短縮したいときは、速聞き再生機能を使います。音程を変えずに、通常の再生の約1.6倍と約2.2倍に切り換えて再生できます。

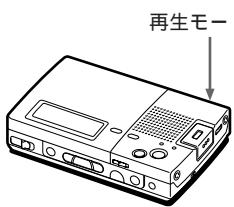


速聞き再生ボタンを押す。  
「FAST」表示が出て、1.6倍の速さで再生が始まります。  
2.2倍にするには、もう一度速聞き再生ボタンを押します。



### くりかえし聞く (リピート再生)

ディスク全体のリピート、ひと区切りの録音内容のリピート、シャッフルリピートの3通りがあります。音楽を聞くときに便利です。

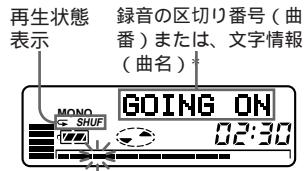


再生中に再生モードボタンを押す。  
押すたびに次ページのように変わります。

次のページに続く→

一時停止や頭出しなどもできます  
速聞き再生中にIIボタンやI◀◀、I▶▶ボタンを使って、通常の再生中と同様に操作できます。

通常の再生に切り換えるには  
▶ボタンを押します。再び速聞き再生をするには、速聞き再生ボタンを押します。



\* 文字情報を記録しているディスク（市販の音楽ソフトなど）のみ表示します。

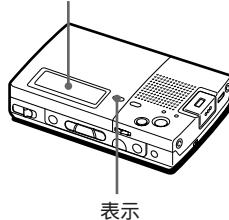
- 表示なし（通常の再生）  
ディスク全体（全曲）を1回再生します。
- ↓  
（全曲リピート）  
ディスク全体（全曲）をくりかえし再生します。
- ↓  
（1曲リピート）  
再生中の内容（曲）をくりかえし再生します。
- ↓  
SHUF（シャッフルリピート）  
ディスク全体（全曲）を順不同に並べかえて再生し、さらにくりかえし並べかえて再生します。

## 再生に便利な機能を使う

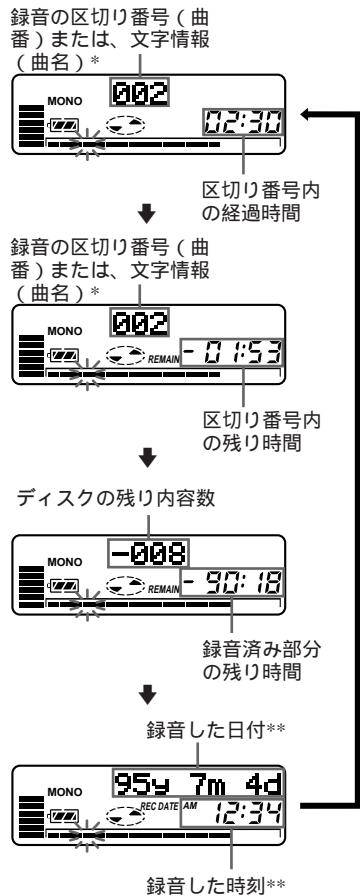
### 経過時間や録音内容の名前\*を見る

再生中に、録音の区切り番号（曲番）や文字情報（曲名）、その残り時間、録音日時などを確認できます。

\* 文字情報を記録しているディスク（市販の音楽ソフトなど）のみ表示します。

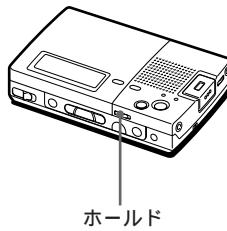


再生中に表示ボタンを押す。  
押すたびに表示は次ページのように変わります。



### 誤操作を防ぐ(ホールド機能)

持ち運んでいるときなど、誤ってボタンが押されるのを防ぎます。



ホールドスイッチを→方向に押します。

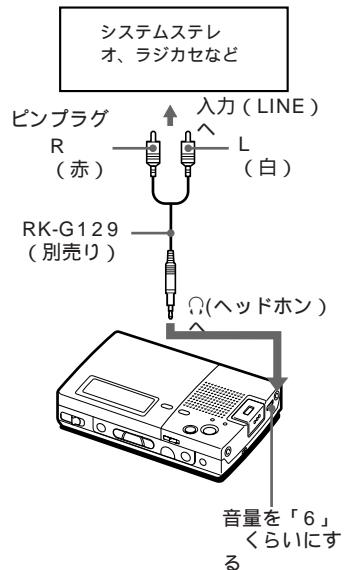
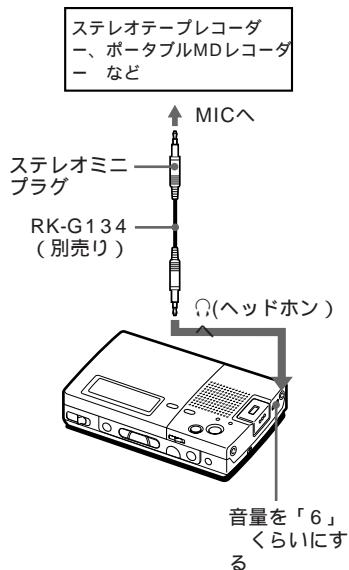
本体の操作ボタンが誤って押されても働かず、再生、録音、停止などをそのままの状態を保ちます。

\* 文字情報を記録しているディスク(市販の音楽ソフトなど)のみ表示します。

\*\* 録音を始めたときと頭出しマークをつけたときの日時が表示されます。また、時計合わせをしないで録音したときや、録音日時が記録されていないディスクを再生したときは、「- -y--m--d」と「- -:--」が表示されます。

## お持ちの機器と接続する

別売りの接続コードRK-G134またはRK-G129を□(ジャック)につなぎ、お持ちのシステムでミニディスクを聞いたり、お持ちの機器へ録音したりすることができます。



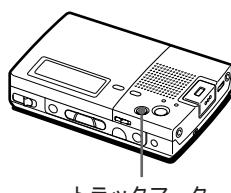
モノラルテープレコーダーなどと接続するには  
別売りの接続コードRK-G135（ミニプラグ付）をモノラルテープレコーダーなどのMICジャックにつなぎます。

## ▶録音したミニディスクを編集する

録音したミニディスクに頭出しマークをつけたり、録音の区切り単位で消去したりすることができます。再生専用ミニディスクの編集はできません。

## 頭出しマークをつける

音楽など、録音した内容の途中に録音の区切りとなる頭出しマーク（曲番）をつけると、好きなところで頭出しができるようになります。録音の区切り番号（曲番）は次のようになります。



再生中に、マークをつけたいところで本体のトラックマークボタンを押す。

録音の区切り番号が1つ増え、そこから次の内容として記録されます。



ご注意  
再生中はリモコンではマークをつけられません。

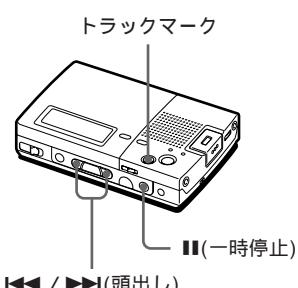
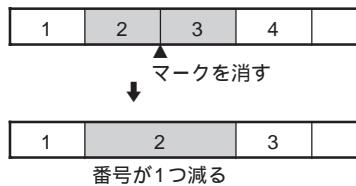
録音中にマークをつけることもできます  
「録音中に頭出しマークをつける」  
(13ページ) を参照してください。

つけたマークを消すには  
「頭出しマークを消す」 (24ページ)  
を参照してください。

- ご注意
- ・頭出しマークをつけた後に■ボタンを押して停止すると、「Toc Edit」表示が点滅し始め、頭出しマークの位置をディスクに記録します。表示の点滅中はゆすったり、たたいたり、電源を抜いたりしないでください。
  - ・誤消去防止つまみが開いているディスクでは頭出しマークをつけることができません。つまみをもとに戻してから使ってください。

## 頭出しマークを消す

録音の区切りとなる頭出しマーク、重要な箇所を示す頭出しマークと同じ方法で消すことができます。頭出しマークを消すと、その前後の録音内容（曲）がつながります。録音の区切り番号（曲番）は次のようにになります。



- 1 再生中、■ボタンを押して一時停止する。
- 2 ▶◀または▶▶ボタンを短くチョンと押して、消したいマークの位置（「00:00」表示が出る）にする。

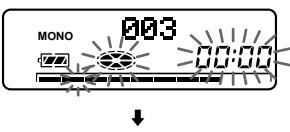
例えば、3つ目の頭出しマークを消すときは、3つ目を頭出します。

約2秒間表示する



- 3 本体のトラックマークボタンを押す。

マークが消えて指定した録音内容が前の内容につながります。



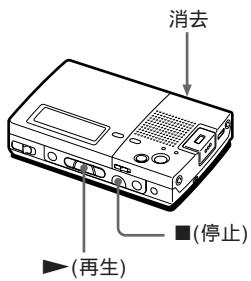
続けてマークを消したいときは手順2、3の操作をくりかえします。

### ご注意

- 頭出しマークを消した後に■ボタンを押して停止すると、「Toc Edit」表示が点滅し始め、変更した頭出しマークの位置をディスクに記録します。表示の点滅中はゆすったり、たたいたり、電源を抜いたりしないでください。
- 誤消去防止つまみが開いているディスクでは頭出しマークを消すことができません。つまみをもとに戻してから使ってください。

## ひと区切りの録音内容をまるごと消す

一度消した録音内容はもとに戻せません。消す前に消したい内容の区切り番号を表示窓で確認してください。



- 1 消したい録音内容を再生する。
- 2 消したい録音内容の再生中に消去ボタンを押す。  
表示窓に「Erase OK?」と  
「PushErase」が交互に出  
て、1曲リピート再生になります。  
消すのを中止したいときは、■  
ボタンを押します。
- 3 録音内容を確認し、もう1度  
消去ボタンを押す。  
指定した録音内容は消え、次の  
録音内容の再生が始まります。  
区切り番号は1つずつくり上が  
ります。ディスクの最後の区切  
りを消したときは、その前の録  
音の終わりで一時停止になります

す。

続けて録音内容を消したいときは  
手順1~3の操作をくりかえします。

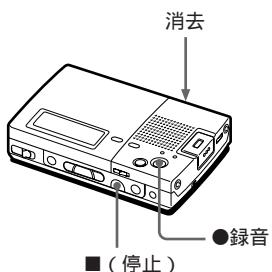
ひと区切りの録音内容から  
一部分を消す  
無音部分や不要な部分の始まりと終  
わりに頭出しマークをつけて、その  
部分を消します。

### ご注意

- 録音内容を消した後に■ボタンを押して停止すると、「Toc Edit」表示が点滅し始め、変更した頭出しマークの位置をディスクに記録します。表示の点滅中はゆすったり、たたいたり、電源を抜いたりしないでください。
- 誤消去防止つまみが開いているディスクでは録音内容を消すことができません。つまみをもとに戻してから使ってください。

## ミニディスク全体 を一度に消す

1枚のディスク全体を一度に消し、新しいディスクと同じように何も記録されていない状態にすることができます。一度消したディスクの内容はもとに戻せません。



### ご注意

- ・「Toc Edit」表示の点滅中はゆすったり、たいたたり、電源を抜いたりしないでください。
- ・誤消去防止つまみが開いているディスクでは録音内容を消すことができません。つまみをもとに戻してから使ってください。

- 1 消したいディスクを再生する。  
ディスクの内容を確認してください。
- 2 ■ボタンを押して停止する。
- 3 停止中に、消去ボタンを押しながら●録音ボタンを押す。  
表示窓に「AllErase?」と  
「PushErase」が交互に出ます。消すのを中止したいときは  
■ボタンを押します。
- 4 もう一度消去ボタンを押す。  
表示窓に「Toc Edit」が点滅して全曲を消去します。消去が終わると「BLANKDISC」が表示されます。

### ▶電源について

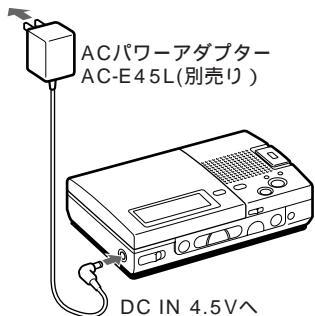
アルカリ乾電池の他に、家庭用電源（コンセント）、充電式リチウムイオン電池（リチウムイオンバッテリーパック）も使えます。

### コンセントにつないで使う

長時間の録音には、別売りのACパワー・アダプターでコンセントにつないで使うことをおすすめします。

ACパワー・アダプター（別売り）をコンセントにつなぐ。

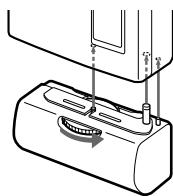
コンセントへ



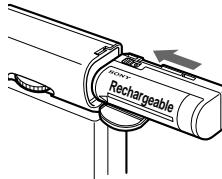
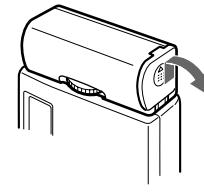
### 充電式リチウムイオン電池で使う

充電式リチウムイオン電池LIP-12（別売り）を使えます。  
お使いになる前に必ず専用の充電器  
ACP-MZ60A（別売り）で充電して  
ください。

- 1 電池ケース（付属）を取り付け



- 2 充電した充電式リチウムイオン電池LIP-12（別売り）を入れる。



#### ご注意

本機では充電式リチウムイオン電池を充電できません。

次のページに続く→

充電式電池・乾電池の取り換え時期は  
ご使用中、表示窓の電池残量表示でお知  
らせします。

□ 残量が少なくなっている。



□ 電池が消耗。取り換えてください。

□ 残量がなくなる。「LOW  
BATT」表示が点滅し、電源が切  
れる。

乾電池・充電式電池の持続時間は<sup>a)</sup>

使用電池	録音時 <sup>b)</sup>	再生時 <sup>c)</sup>
ソニーアルカリ 乾電池LR6 3本	約3時間	約6時間
充電式リチウム イオン電池 (LIP-12)	約2時間	約3時間
ソニーアルカリ 乾電池LR6 3本と充電式リ チウムイオン電 池 (LIP-12)	約6時間	約10時間

a) 周囲の温度や使用状態により、  
上記の持続時間と異なる場合があります。

b) 録音する場合には電池の消耗による失  
敗を防ぐため、新しい乾電池または充  
分に充電した充電式電池をお使いくだ  
さい。

c) スピーカー再生時

#### ご注意

- はじめて充電するときや、長時間使用  
しなかったあとでは、充電しても通常の  
使用時間より短いことがあります。何回  
か放電、充電をくりかえすと通常の状態  
に戻ります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える  
時間が通常の半分くらいになったとき  
は、新しい充電式電池と取り換えてくだ  
さい。

## ▶その他

### 使用上のご注意

**分解しないでください**  
ミニディスクレコーダーに使われているレーザー光が目にあたると危険です。

**レンズに触れないでください**

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。  
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

**ACパワーアダプターについて**

この製品には、別売りのACパワー アダプターAC-E45L（極性統一形 プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



**乾電池について**

- 乾電池はアルカリ乾電池をお使いください。他の乾電池では充分な性能を出すことはできません。
- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。  
-  $\oplus$ と $\ominus$ の向きを正しく入れてください。

- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

- 乾電池は充電できません。  
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取つてから新しい乾電池を入れてください。

**充電式電池について**

- 電池を火の中に入れないでください。
- 発熱、発火などのおそれがありまので、充電式電池の $\oplus$ 端子と $\ominus$ 端子を金属で接続しないでください。（金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。）

**置き場所について**

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）。
- 風呂場など、湿気の多いところ。
- ほこりの多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

**持ち運ぶとき**

キャッシュカード、定期券、預金通帳など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがあります。ご注意ください。

**温度上昇について**  
本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがあります  
が、故障ではありません。

**動作音について**  
本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

#### 録音について

- 振動について  
録音中、本機に強い衝撃や連続的な振動を与えないでください。音切れを起こしたり、録音が停止する場合があります。また録音終了後の「Toc Edit」表示中は録音内容の情報をディスクに記録していますので、振動を与えないでください。
- 録音時のノイズについて  
内蔵マイクおよび外部マイクからの音はアナログで送られ、その後デジタルに変換して録音します。そのため、アナログノイズが入る場合があります。また、静かなところで内蔵マイクを使って録音すると、動作音も録音されることがあります、これらは故障ではありません。
- タイマー録音はできません  
電源をつながずに録音ボタンを押すとボタンは押されたままになりますが、電源をつなぐと、もとに戻ります。このため、録音ボタンを押し込んだ状態でタイマー録音することはできません。

**表面のお手入れについて**  
水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

#### ミニディスクの取り扱いについて

ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- ミニディスクに直接触れない  
  
シャッター 開けないでください  
カートリッジ  
われま  
す。  
シャッター カートリッジ

#### ・置き場所について

直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性のあるところには放置しないでください。

- 定期的にお手入れを  
カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふき取ってください。

## 故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。

症状	原因	処置
操作を受けつけない	ディスクが入っていない(「NO DISC」表示が出る)。	ディスクを入れる。
	ホールド機能が働いている(操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る)。	ホールドスイッチを矢印と逆方向にしてホールド機能を解除する。(21ページ)
	結露(内部に水滴が付着)している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おく。
	ACパワーアダプターがしっかりと差し込まれていない。	DC IN 4.5 Vジャックとコンセントにしっかりと差し込む。
	乾電池または充電式電池が消耗している(□または「LOW BATT」表示が点滅)。	乾電池を3本とも交換するか、充電式電池を充電する。(6、27ページ)
	乾電池が正しく入れられていな	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れなおす。(6ページ)
	い。 何も録音されていないディスクが入っている(「BLANKDISC」表示が出る)。	他のディスクと取り換える。
	ディスクが損傷している(「DISC ERR」表示が出る)。	ディスクを入れなおす。それでも「DISC ERR」表示が出るときは、他のディスクと取り換える。
	ディスク表示が速く回転しているときにボタンを押した。	ディスク表示がゆっくり回転してから次の操作をする。
	使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのため に強いノイズを受けた。	次の手順で操作し直す。 1すべての電源をはずす。 2約30秒間そのままにする。 3電源をつなぐ。
通常の再生ができる	リピート再生を指定した。	再生モードボタンを押して、□(リピート)表示が消えてから再生を始める。(19ページ)
1番目の録音内容から再生できない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	◀▶ボタンを押すか、1度ふたを開けて、再生を始める位置をディスクの最初に戻し、表示窓の録音の区切り番号、経過時間を確かめてから再生する。

次のページに続く→

症状	原因	処置
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。	連続した振動の少ない場所で使う。 ひと区切りの録音内容の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
録音・編集ができない	ディスクが誤消去防止状態になっている（「PROTECTED」表示が出る）。	ディスクの誤消去防止つまみを戻して穴を閉じる。（15ページ）
	音源と正しく接続されていない。	接続しなおす。（12ページ）
	再生専用ディスクが入っている（「PB DISC」表示が出る）。	録音用ディスクと取り換える。
	ディスクの残り時間が24秒以下（モノラル録音時）である（「DISC FULL」表示が出る）。	他の録音用ディスクと取り換える。
	録音、または編集中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの録音の内容は消える。初めから録音しなおしてください。
録音ボタンがもどに戻らない	電源につないでいない状態で録音ボタンを押した。	乾電池、充電式電池のいずれかを入れる。またはACパワーアダプターでコンセントにつなぐ。（6、27ページ）
頭出しマークを消せない	◀◀または▶▶ボタンを押して頭出ししてから一時停止して、マークを消そうとした。	■ボタンを押して一時停止してから◀◀または▶▶ボタンを押して頭出しする。
時計が正確に動かない	内蔵の時計用充電池が消耗している。	電源をつないで充電する。ただし、電池が消耗していないくても月に2分程度の誤差が生じることがあります。（18ページ）
録音日時が記録されない	時計表示が点滅している。	時計を合わせなおす。（17ページ）
ディスクの最大時間まで録音できない	短い録音をたくさんすると実際に録音できる合計時間が少なくなることがあります。	
	録音済みディスクの上から重ねて録音をくり返した。（33ページ）	一度ディスク全体を消してから録音する。（26ページ）

## システム上の制約による症状と原因

ミニディスクシステムでは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因
最大録音可能時間(モノラルでは120分、148分、ステレオでは60分、74分)に達していなくても、「TR FULL」表示が出る。	254の頭出しマークがつくとそれ以上の録音はできません。 さらにマークを追加するには、不要なマークまたは不要な録音内容を消してから録音してください。
頭出しマークの数(録音内容数)も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て、録音が止まる。	同じディスクで録音、消去をくりかえすと、ひと区切りの録音内容のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータはひと区切りの録音内容(1曲)と同じ扱いになり、全部で区切りが254になると、録音できなくなります。 さらに録音内容を追加するには、不要な録音内容を消してから録音してください。
頭出しマークが消せない。	つなごうとする録音内容のデータがディスク上に分散し、それぞれのデータの長さがモノラルで24秒(ステレオで12秒)以下とのとき、その内容の頭出しマーク(曲番)を消して前の内容とつなぐことはできません。
ひと区切りの録音内容を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。	ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、モノラルで24秒(ステレオで12秒)以下の部分は計算されません。このため、短い録音内容をいくつ消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。
ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(モノラルでは120分、148分、ステレオでは60分、74分)に一致しない。	通常、モノラル録音は約4秒(ステレオ録音では約2秒)を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には4秒に満たない場合でも4秒分のスペースを使います。 また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約4秒分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の録音内容を消さないためです。 このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で12秒(ステレオでは6秒)短くなります。

次のページに続く→

症状	原因
編集した録音内容を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる。	再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い録音内容がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

## エラー表示一覧

表示窓にエラー表示が出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

エラー表示	意味	対策
BLANKDISC	何も録音されていないディスクが入っている(再生時)。	他のディスクと取り換える。
BUSY	録音または編集の内容の処理をしている。	しばらくお待ちください。まれに、2~3分ほどかかる場合があります。
CANNOT	1番目の録音内容の頭で、頭出しマークを消そうとした。 つなげられない録音内容の頭で頭出しマークを消そうとした。(ミニディスクのシステム上の制約)	_____
DISC ERR	異常なディスク(損傷している、録音や編集の内容などの情報が入っていない)が入っている。	ディスクを入れなおす。それでも「DISC ERR」表示が出るときは、他のディスクと取り換える。
DISC FULL	ディスクの残り時間が24秒以下である(モノラル録音時)。	他の録音用ディスクと取り換える。
Hi DC in	電源電圧が高い(指定のACパワーアダプターを使っていない)。	指定のACパワーアダプターを使ってください。
HOLD	ホールド機能が働いている。	ホールドスイッチを矢印と逆方向にしてホールド機能を解除する。(21ページ)
LOW BATT	電池が消耗した。	新しい乾電池と入れ換えるか、充電式電池を充電しなおす。(6、27ページ)
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
PB DISC	再生専用ディスクが入っている(録音・編集時)。	録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止つまみを戻す。(15ページ)
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TR FULL	頭出しマークの数(録音内容数)がいっぱいできれい以上録音や編集ができない。	不要な頭出しマークまたは録音内容を消す。(24、25ページ)
TRprotect	トラックプロテクト(ひと区切りの録音内容の誤消去防止)がかかっている内容に録音・編集をしようとした。	他の録音内容で録音・編集してください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

## 主な仕様

### ミニディスク

#### 形式

ミニディスクデジタルオーディオ  
システム

#### 録音方式

磁界変調光学方式

#### 再生読み取り方式

非接触光学式読み取り（半導体レ  
ーザー使用）

#### レーザー

GaAlAsダブルヘテロダイオ  
ード、 $\lambda = 780 \text{ nm}$

#### 録音再生時間

最大148分（MDW-74使用、モ  
ノラル録音、再生時）  
最大74分（MDW-74使用、ステ  
レオ録音、再生時）

#### 回転数

約400 rpm ~ 900 rpm  
(CLV)

#### エラー訂正方式

アドバンスドクロスインターリー  
ブリードソロモンコード  
(ACIRC)

#### サンプリング周波数

44.1 kHz

#### コーディング

アダプティブランスマニアムア  
コースティックコーディング  
(ATRAC)

#### 変調方式

EFM

#### チャンネル数

ステレオ2チャンネル  
モノラル1チャンネル

#### 周波数特性

20 ~ 20,000 Hz ± 3 dB

### ワウフラッター

測定限定値以下

### 入力端子

マイク：ステレオミニジャック、  
最小入力レベル 0.44 mV  
リモコン：超ミニジャック、付属  
リモコンに対応

### 出力端子

ヘッドホン：ステレオミニジャッ  
ク、実用最大出力（DC時）5  
mW + 5 mW (EIAJ 16)  
実用最大出力（DC時）  
スピーカー 220 mW (EIAJ)

### 電源・その他

#### 電源

乾電池 アルカリ単3形3本（付  
属）  
外部電源ジャック 定格DC 4.5 V  
ACパワーアダプターAC-E45L  
(別売り)、AC100V 50/60  
Hz

充電式リチウムイオン電池LIP-12  
(別売り)

#### 電池持続時間

乾電池、充電式電池の持続時間に  
ついては、「充電式リチウムイオ  
ン電池で使う」(28ページ)をご  
覧ください。

#### 最大外形寸法

約135.3 × 30 × 80.5 mm (幅 /  
高さ / 奥行き、最大突起部含ま  
ず)

#### 質量

次のページに続く→

本体 約305g  
ご使用時 約405g (録音用ミニディスク、リモコン、乾電池LR6 3本を含む)

\* ACP-MZ60Aは充電器としてのみ使えます。本機のACパワーアダプターとしてはお使いいただけません。

#### 付属品

リモコン(1)  
アルカリ単3形乾電池(3)  
電池ケース(充電式リチウムイオン電池LIP-12用)(1)  
録音用ミニディスク(1)  
キャリングケース(1)  
取扱説明書(1)  
操作早わかりカード(1)  
ソニーご相談窓口のご案内(1)  
保証書(1)

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります  
が、ご了承ください。

#### 別売りアクセサリー

ACパワーアダプターAC-E45L  
リチウムイオンバッテリー(パック  
(充電式リチウムイオン電池)  
LIP-12  
ACパワーアダプター/バッテリー  
チャージャーACP-MZ60A\*  
ステレオマイクロホンECM-  
TS120、ECM-909A、ECM-  
727P、ECM-717  
モノラルマイクロホンECM-  
T140、ECM-T110  
ステレオイヤーレシーバーMDR-  
E848、MDR-E838  
ステレオヘッドホンMDR-D55、  
MDR-D33  
ミニディスク(生ディスク)  
MDW-74/74A(74分用)  
MDW-74L/74R/74Y(74分  
用)  
MDW-60/60A(60分用)  
ミニディスク・キャリングケース  
CK-MD4  
ミニディスク・ファイリングボッ  
クスCK-MD10

## 解説 ミニディスクについて

### ミニディスクとは？

直径わずか64mmのディスク。それをカートリッジに収めたものがミニディスクです。録音、再生ともデジタル方式なのでノイズやひずみが極めて少なく、コンパクトディスクに迫る高音質を実現しています。また、音質も劣化せず耐久性に優れています。

さらに、カートリッジに収められているのでほこり、傷、指紋などを気にせず手軽に取り扱えます。

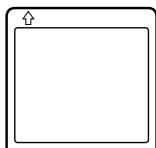
### 2種類のディスク

ミニディスクには、再生専用と録音用の2種類があります。

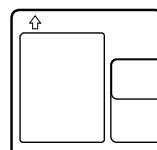
#### • 再生専用ミニディスク

再生のみが可能なディスクで、市販のMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスクと同じ光ディスクで、ピット（小さくぼみ）の有無でデータが記録されています。

再生は、録音用ミニディスクと共に光学ピックアップで行います。



- 録音用ミニディスク  
録音もできるいわゆる「生ディスク」です。光磁気(MO: Magneto-Optical)ディスクを使用しており、レーザーと磁気で記録する磁界変調光学方式を採用しています。



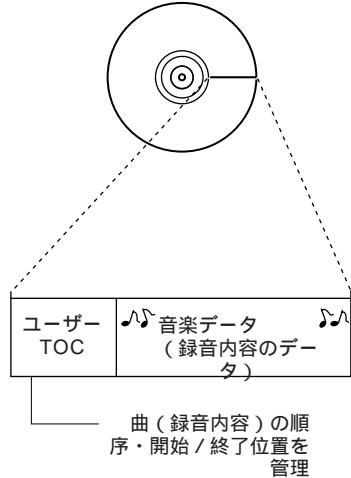
### ATRACで小型化を実現

ミニディスクの直径はコンパクトディスクの約半分でありながら記録できる時間はほぼ同じです。それは、新しく開発された音声圧縮技術「ATRAC: Adaptive TRansform Acoustic Coding」によって可能になりました。新技術ATRACでは、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約1/5に圧縮します。聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴覚上の音質が損なわれることはありません。

次のページに続く→

## 瞬時に選曲

ディスクならではの大きな特長がその選曲性の良さ　すぐに目的の内容（曲）の頭出しができることです。しかも録音用ミニディスクでは、頭出しのみならず録音した内容（曲）の編集もすばやく行えます。これは内容（曲）の情報（開始位置・終了位置・順序など）をすべて「ユーザー-TOC（Table Of Contents）」と呼ばれる領域で管理しているからです。この領域は音楽データ（録音内容のデータ）とは別に存在しているので、ユーザー-TOCの情報を変更するだけで編集が可能になります。たとえば、テープで曲（録音内容）を消去するために消したい曲（録音内容）の頭から終りまで無音で録音し直さなければなりません。これに対してミニディスクの場合は、ユーザー-TOCの情報を書き換えるだけで曲（録音内容）を簡単に消すことができます。



## 音飛びガードメモリー

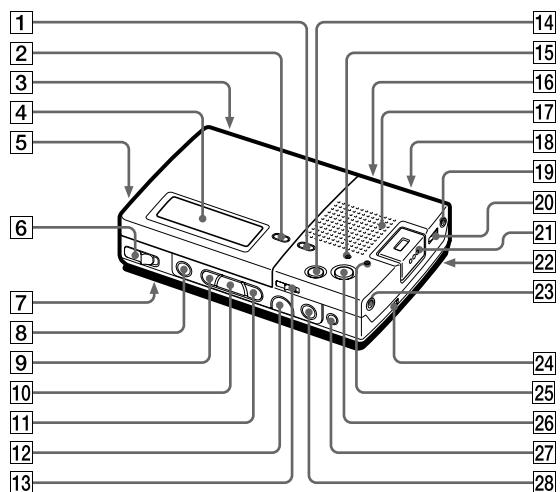
従来の光・光磁気ディスクの弱点は振動に弱く音飛びしやすいことでした。ミニディスクでは新開発の耐振技術「音飛びガードメモリー」を採用し耐振性を飛躍的に向上させました。

したがって、アウトドアでの再生や、手に持つての録音などに有利です。

## 各部のなまえ

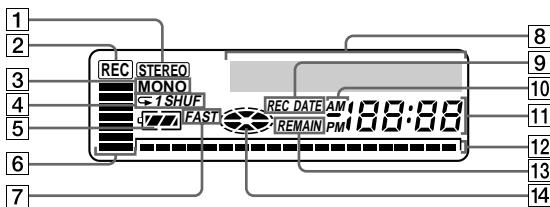
( ) 内のページに詳しい説明があります。

### 本体



- 1 エンドサーチボタン (7)  
2 表示ボタン (16、20)  
3 トランクマーク(録音) / ポーズ(リモコン用)ジャック (13)  
4 表示窓 (7、9、16、21)  
5 DC IN 4.5 V ジャック (27)  
6 開く(ディスク取り出し)スイッチ (6)  
7 時計合わせボタン(底面) (17)  
8 速聞き再生ボタン (19)  
9 ▶◀ (早戻し)ボタン (7、9)  
10 ▶ (再生)ボタン (9)  
11 ▶▶ (早送り)ボタン (7、9)  
12 ■ (停止)ボタン (7、9)  
13 ホールドスイッチ (21)  
14 トランクマークボタン (13、24)  
15 録音ランプ (15)  
16 消去ボタン (25、26)  
17 スピーカー (9)  
18 再生モードボタン (19)  
19 △ (ヘッドホン)ジャック (9、22)  
20 音量つまみ (9)  
21 マイク (7)  
22 電池入れ(底面) (6、8)  
23 マイク プラグインパワージャック (11、12)  
24 モノラル / ステレオスイッチ (11、12)  
25 VORランプ (10)  
26 ●録音ボタン (次のページに続く→ 41)  
27 VOR (自動音声スタート) 入 /  
28

## 表示窓



- ① ステレオ表示 ( 11、12 )
- ② 録音表示 ( 7 )  
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。
- ③ モノラル表示 ( 7 )
- ④ 再生状態表示 ( 20 )  
ディスクの再生状態を表示します。
- ⑤ 電池残量表示 ( 28 )  
充電池や乾電池の残量を表示します。
- ⑥ レベル表示  
録音時には入力レベルを、再生時には再生音のレベルを表示します。
- ⑦ 速聞き表示 ( 19 )  
速聞き再生していることを示します。
- ⑧ 文字情報表示部  
ディスク名や録音内容の名前(市販の音楽ソフトなど)、日付、エラー表示、録音の区切り番号などが文字で表示されます。
- ⑨ REC DATE表示 ( 16、17、21 )  
表示窓に録音日時がでているときに表示されます。現在の日時

が出ているときは「DATE」が表示されます。

- ⑩ 午前 / 午後表示 ( 17 )  
時刻が12時間表示のときに表示されます。

- ⑪ 時刻 / 時間表示 ( 16、17、21 )  
録音時刻、現在時刻、ひと区切りの録音内容の再生時間や残り時間、ディスクの残り時間を示します。

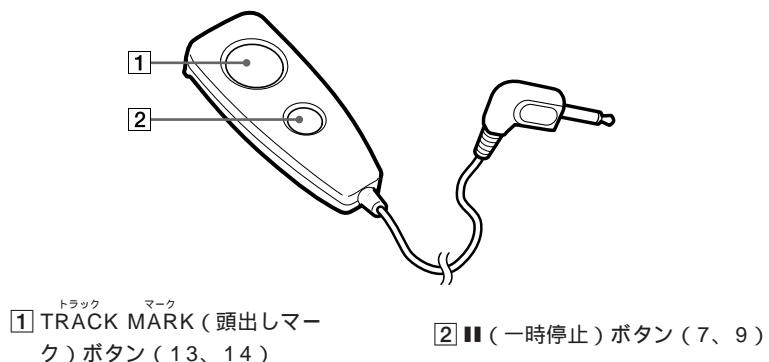
- ⑫ ポジションポインター ( 7、9 )  
ディスク上の位置情報を示します。現在録音または再生中の部



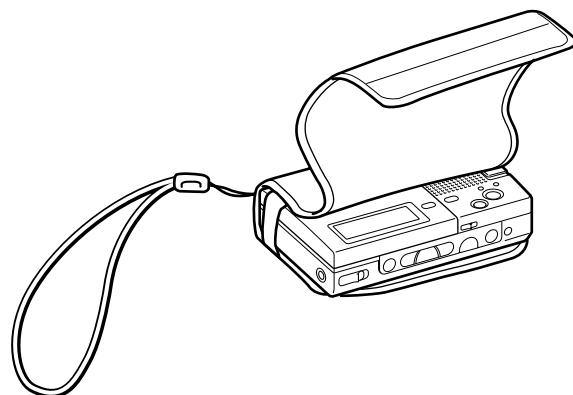
- ⑬ REMAIN表示 ( 16、21 )  
ディスクの残り内容数、ディスクや録音内容の残り時間を表示していることを示します。

- ⑭ ディスク表示  
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示し

リモコン



キャリングケース



## English

# Operating Instructions

## Welcome!

Welcome to the world of the MiniDisc! Here are some of the capabilities and features you'll discover with the new MiniDisc (MD) Recorder.

- Long-time recording in monaural sound – You can record for up to 148 minutes on a 74-minute MD by using monaural recording. You can record in stereo sound for up to 74 minutes.
- A microphone and a speaker built in the recorder – You can record and play back an MD anywhere you go.
- Digital VOR (Voice Operated Recording) function – The recorder starts and stops recording automatically in response to the sound. The recorder's memory makes precise starting of recording possible. With this function, you can dictate easily.
- Fast playback function – You can reduce the listening time. You can play an MD either 1.6 or 2.2 times as fast as the normal playback speed.
- Two kinds of track marks – You can record two different kinds of track marks: regular track marks and special track marks. You can locate the special track marks independently of the regular ones.
- Position indicator – The display shows you the current location on the MD.
- Date and time stamp function – The built-in clock allows you to record the date and time whenever you make a recording.
- Title function – You can see disc and track titles in the display while you are playing an MD that has been electronically labeled.

## Looking at the controls

The numbers are keyed to the illustrations in the Japanese text (pages 41 to 43).

### Recorder

- [1] エンドサーチ (end search) button
- [2] 表示 (display) button  
Press to display the current play mode, the remaining time of the current track, the remaining time of the disc, or the recorded date and time.
- [3] ト ラックマーク (録音) / ポーズ (リモコン用) ジャック (track mark (record)/pause for the remote controller) jack
- [4] Display window
- [5] DC IN 4.5 V jack
- [6] 開く (open) switch
- [7] 時計合わせ (clock set) button (at the bottom)
- [8] 速聞き再生 (fast play) button  
Press to play the MD at a fast speed. Each time you press here, the playback speed is set to 1.6 or 2.2 times as fast as the normal playback.
- [9]  (search/AMS) button
- [10]  (play) button
- [11]  (search/AMS) button
- [12] ■ (stop) button
- [13] ホールド (hold) switch  
Slide to lock the controls of the recorder.
- [14] ト ラックマーク (track mark) button  
Press for track marking to divide a recording.
- [15] Record indicator  
Lights up while recording, flashes in record standby mode, and slowly flashes while recording with less than 3 minutes' recording time available.
- [16] 消去 (erase) button  
Press to erase recorded track(s).
- [17] Speaker
- [18] 再生モード (play mode) button  
Each time you press here while playing an MD, the recorder plays

- the MD in a different play mode: normal play, all repeat, single repeat, or shuffle repeat.
- [19] (headphones) jack
- [20] 音量 (volume) control
- [21] Microphone
- [22] Battery compartment (at the bottom)
- [23] マイク プラグインパワー (microphone plug in power) jack
- [24] モノラル / ステレオ (monaural/stereo) switch  
When recording with an external microphone, set here to **ステレオ** for stereo recording, and set here to **モノラル** for monaural recording.
- [25] VOR indicator  
During dictation, lights up while your voice is recorded, and flashes while nothing is recorded.
- [26] ●録音 (record) button
- [27] VOR 入 / 切 (voice operated recording on/off) button  
Press to start dictating while recording.
- [28] ■ (pause) button
- Display window**
- [1] STEREO indication
- [2] REC (record) indication  
Lights up while recording. When flashing, the recorder is in record standby mode.
- [3] MONO (monaural) indication
- [4] Play mode indication  
Shows the play mode of the MD.  
 ↵ (all repeat): All tracks play repeatedly.  
 ↵ 1 (single repeat): One track plays repeatedly.  
 ↵ SHUF (shuffle repeat): Tracks will be repeated in random order.
- [5] Battery indication  
Shows battery condition. When flashing, the dry batteries or the rechargeable battery is weak.
- [6] Level meter  
Shows the volume of the MD being played or recorded.
- [7] FAST playback indication  
Lights up while playing at a fast speed.
- [8] Character information display  
Displays the disc and track names\*, date, error messages, track numbers, etc.
- [9] REC DATE (recorded/current date) indication  
Lights up along with the date and time the MD was recorded. When only "DATE" lights up, the current date and time are displayed.
- [10] AM/PM indication  
Lights up along with the time indication in the 12-hour system.
- [11] Time display  
Shows the elapsed time of the track being recorded or played. Shows the time recorded while "REC DATE" indication is lit, the current time while "DATE" indication is lit, and the remaining time of the track or disc being recorded or played while "REMAIN" is lit.
- [12] Position indicator  
Shows the current location on the MD. The point under recording or playing flashes. The recorded portion lights up.
- [13] REMAIN (remaining time/tracks) indication  
Lights up along with the remaining time of the track or the disc, or the remaining number of tracks.
- [14] Disc indication  
Shows that the disc is rotating for recording, playing or editing an MD.
- \* Disc and track names appear only with MDs that have been electronically labeled.
- Remote controller**
- [1] TRACK MARK button  
Used to add track marks while recording. Adds a regular track mark when pressed once. Adds a special track mark when pressed twice.
- [2] ■ (pause) button
- Carrying case**  
Used as shown on page 43.

45

## ►Recording

### Recording an MD right away!

See the illustrations in Japanese text (pages 6 to 7).

Record an MD through the built-in microphone. The recorded sound is monaural, and you can record for up to 148 minutes on a 74-minute MD or up to 120 minutes on a 60-minute MD. Premastered MDs cannot be recorded over.

- 1 Install three LR6 Sony Alkaline Batteries.
- 2 Insert a recordable MD.
  - ① Slide the 開く (open) switch to the right and open the lid.
  - ② Insert a recordable MD with the label side facing up, and press the lid down to close.
- 3 Press the ● 録音 (record) button to record an MD. "REC" and "MONO" appear in the display, and recording starts from the beginning of the disc. The level of the recorded sound is adjusted automatically.

*To stop recording, press ■ (stop). "Toc Edit" flashes to record data of the recording (the track's start and end points, etc.). Do not move or jog the recorder or disconnect the power source while the indication is flashing in the display. When the recorder completes recording the data, the ● 録音 (record) button will be released.*

#### If the recording does not start

- Make sure the recorder is not locked. If it is locked, slide the 一ルド (hold) switch in the opposite direction of the arrow.
- Make sure the MD is not record-protected. If the tab at the side of the MD is open, slide it back so the tab is visible.

#### The alkaline batteries' life

You can record an MD with new alkaline batteries for 3 hours.

#### Operation for recording

To	Press
Pause	■ while recording. Press ■ again to resume recording.
Record from the end of the previous recording	エンドサーチ (end search) and press the ● 録音 (record) button.
Record over partway through the previous recording	▶, ▶▶ or◀◀ to find point to start recording and press ■ to stop. Then press the ● 録音 (record) button.
Remove the MD	■ and open the lid.*

\* Once you open the lid, the point to start recording will change to the beginning of the first track. When recording on a recorded MD, check the point to start recording on the display.

## ►Playing

### Playing an MD right away!

See the illustrations in Japanese text (pages 8 to 9).

Play an MD you recorded on or a premastered MD. You can hear the playback sound in monaural through the built-in speaker. For stereo sound, play an MD recorded in stereo, and use stereo headphones (not supplied).

- 1 Install three LR6 Sony Alkaline Batteries.
- 2 Insert an MD.
  - ① Slide the 開く (open) switch and open the lid.

- ② Insert an MD with the label side facing up, and press the lid down to close.
- 3 Play an MD.**
- ① Press ▶ (play).  
The recorder starts to play the first track.  
The recorder automatically switches to play in stereo or monaural according to the recorded sound.
  - ② Turn the 音量 (volume) control to adjust the volume.

*To stop play, press ■ (stop).*

#### **Operation while playing**

To	Press
Pause	■■ Press ■■ again to resume play.
Find the beginning of the current track	◀◀ once
Find the beginning of the next track	▶▶ once
Go backwards while playing*	keep pressing ◀◀
Go forward while playing*	keep pressing ▶▶
Remove the MD	■ and open the lid. **

- \* To go backwards or forward quickly without listening, press ■■ and keep pressing ▶◀ or ▶▶.
- \*\* Once you open the lid, the point to start play will change to the beginning of the first track.

#### **To listen in stereo sound**

Connect stereo headphones (not supplied) to the  (headphones) jack.

#### **If the playback does not start**

Make sure the recorder is not locked. If it is locked, slide the ホールド (hold) switch in the opposite direction of the arrow.

#### **The alkaline batteries' life**

You can play an MD with new alkaline batteries for 6 hours.

### **► Various ways of recording**

#### **Dictating (Digital VOR function)**

See the illustration in Japanese text (page 10).

You can dictate easily using the digital VOR (Voice Operated Recording) function. You do not have to press any buttons to suspend recording while dictating.

- 1 Insert a recordable MD and start recording.  
To record, see "Recording an MD right away!" (page 46).
- 2 Press the VOR 入/切 (on/off) button to set to on.  
The VOR indicator flashes.
- 3 Speak into the built-in microphone.  
Hold the recorder and keep it close to your mouth – around 10 cm (4 inches) from your mouth.  
The VOR indicator lights up while your voice is recorded, and flashes while nothing is recorded.

#### **To release the digital VOR function**

Press the VOR 入/切 (on/off) button.  
The VOR indicator goes off, and the recorder switches to normal recording.

#### **To stop dictating**

Press ■.  
The recorder will switch back to normal recording when you record next time.

#### **Notes**

- You cannot record with the built-in microphone while an external microphone is connected to the マイク プラグインパワー (microphone plug in power) jack.
- This recorder's VOR function is designed for dictation, not for recording interviews or conferences.
- As long as VOR is on, the batteries are used even while nothing is being recorded (the VOR indicator flashes).

---

#### **Recording in stereo with an external microphone**

See the illustration in Japanese text (page 11).

You can record in stereo sound using ECM-TS120, ECM-909A, ECM-727P, etc. (not supplied).

You can record for up to 74 minutes on 74-minute MD or 60 minutes on 60-minute MD.

- 1 Connect the microphone to the マイク プラグインパワー (microphone plug in power) jack.
- 2 Set the モノラル / ステレオ (monaural/stereo) switch to ステレオ.
- 3 Insert a recordable MD and start recording.  
To record, see "Recording an MD right away!" (page 46).  
While recording, "STEREO" appears in the display.

#### **To stop recording**

Press ■.

**To record in monaural for double the normal recording time of an MD**  
Set the モノラル / ステレオ (monaural/stereo) switch to モノラル. The recording time will be double the normal.

#### **To record with an external monaural microphone**

Use a monaural microphone ECM-T140, ECM-T110, etc. (not supplied), and set the モノラル / ステレオ (monaural/stereo) switch to モノラル.

#### **Notes**

- The モノラル / ステレオ (monaural/stereo) switch functions only when an external microphone is connected to the マイク プラグインパワー (microphone plug in power) jack.
- If you connect a stereo microphone and set the モノラル / ステレオ (monaural/stereo) switch to モノラル, the mixed sound from both the right and left channels will be recorded.
- If you connect a monaural microphone and set the モノラル / ステレオ (monaural/stereo) switch to ステレオ, only the left channel sound of the source will be recorded.
- The MDs recorded in monaural sound can be played back only with an MD player/recorder that has the monaural playing function.

---

#### **Recording from other equipment**

See the illustrations in Japanese text (page 12).

Use a line cable (RK-G134 or RK-G128, not supplied) to connect the recorder to the source equipment.

- 1 Connect the マイク プラグインパワー (microphone plug in power) jack of the recorder to the source equipment with a line cable.
- 2 Set the モノラル / ステレオ (monaural/stereo) switch to ステレオ.
- 3 Insert a recordable MD and start recording.  
To record, see "Recording an MD right away!" (page 46).  
While recording, "STEREO" appears in the display.
- 4 Play the sound source.

**To stop recording**  
Press ■.

**To record in monaural for double the normal recording time of an MD**  
Set the モノラル / ステレオ(monaural/stereo) switch to モノラル. The recording time will be double the normal.

**To record from a monaural player**  
Connect a line cable (RK-G135 or RK-G64, etc., not supplied) to the earphone jack of the source equipment, and set the モノラル / ステレオ(monaural/stereo) switch to モノラル.

#### Notes

- If you connect monaural equipment and set the モノラル / ステレオ(monaural/stereo) switch to ステレオ, only the left channel sound of the source will be recorded.
- The MDs recorded in monaural sound can be played back only with an MD player/recorder that has the monaural playing function.

---

## Track marking while recording

See the illustrations in Japanese text (pages 13 to 14).

### Track marking to divide a recording

Track marking essentially adds tracks while recording and enables you to quickly find and play from the marked position. The track marking feature is useful particularly when recording a discussion, an interview, etc. You can add track marks with the recorder or the remote controller. To use the remote controller, connect it to the トランクマーク(録音)/ボーズ(track mark(record)/pause) jack.

While recording, press the トランクマーク(track mark) button on the recorder or the TRACK MARK button on the remote controller.

A track mark is added and the track number will increase by one. The record indicator flashes and "MARK ON" appears in the display.

**To add track marks after recording**  
See "Track marking a recording" (page 52).

**To erase track marks**  
See "Erasing a track mark" (page 52).

**To find track marks**  
While playing, press ▶◀ or ▶▶ slightly.

### Track marking important points

While you record a discussion or an interview, you can add not only regular track marks but special track marks. Special track marks can be found independently of the regular track marks during playback. You can add special track marks only with the remote controller while recording.

While recording, press the TRACK MARK button on the remote controller twice. A special track mark is added and the track number will increase by one. The record indicator flashes and "!MARK ON!" appears in the display.

**Note**  
To add a special track mark, press the TRACK MARK button twice within one second. If you press the button secondly after more than one second passes, two regular track marks will be recorded.

**Special track marks cannot be added after recording**  
You can add special track marks only while recording.

**To erase special track marks**  
See "Erasing a track mark" (page 52).

**To find special track marks while playing**  
While pressing the VOR  $\wedge$  /  $\text{t} \text{j}$  (on/off) button, press  $\blacktriangleleft$  or  $\triangleright$  slightly. The special track mark indication "TT" appears following the track number. Each time you press  $\blacktriangleleft$ , you can find the previous special track mark. Each time you press  $\triangleright$ , you can find the succeeding special track mark.

#### Tips on track marks

##### Total number of track marks

You can record up to 254 track marks in total of the two kinds – regular track marks to divide a recording and special track marks – on an MD.

##### Regular and special track marks are recorded in the same way as the track marks on music discs.

The two kinds of track marks recorded with this recorder can be used for playback operation in the same way as the track marks recorded on the beginning of each music track on a music disc.

---

#### Setting the clock to stamp the recorded time

See the illustrations in Japanese text (page 17).

To stamp the date and time on the MD when you start recording and add track marks, you first need to set the clock.

When you use the recorder for the first time or after a long period of disuse, charge the built-in battery for the clock after setting the clock.

- 1 Connect the power source. Install three LR6 Sony Alkaline Batteries.
- 2 Press the 時計合わせ (clock set) button on the bottom of the recorder with a pointed object.

- The digits of the year flash.
- 3 Enter the current year by pressing  $\blacktriangleleft$  or  $\triangleright$ . To change the digits rapidly, keep pressing  $\blacktriangleleft$  or  $\triangleright$ .
  - 4 Press  $\triangleright$ . The year is set and the digit of the month flashes.
  - 5 Repeat steps 3 and 4 to enter the current month, date, hour, and minute. When you press  $\triangleright$  to set the minute, the clock starts operating.

##### If you make a mistake while setting the clock

Press  $\blacksquare$ , and set the clock again from step 2. You can skip a step by pressing  $\triangleright$ .

##### To display the current time

When the recorder is not operating or while recording, press the 表示 (display) button repeatedly until the current time appears in the display. The time indication disappears after 10 seconds.

##### To display the time in the 24-hour system

While setting the clock, press the 表示 (display) button. To display the time in the 12-hour system, press the 表示 (display) button again.

#### Charging the built-in battery for the clock

After setting the clock, leave the recorder with the dry batteries installed for about 2 hours to charge the built-in battery for the clock. You can use the recorder while charging. Once charged, the built-in battery should last for about a month without being connected to any of the power sources. The recorder will automatically charge the built-in battery while connected to dry batteries, AC power, or a rechargeable battery.

## ►Various ways of playback

### Listening at a fast speed

See the illustrations in Japanese text (page 19).

You can reduce the listening time by using the fast playback function. The playback speed can be set to 1.6 or 2.2 times as fast as the normal playback.

Press the 速聞き再生 (fast playback) button.  
"FAST" appears in the display, and fast playback starts at one of the two speeds, 1.6 or 2.2 times.  
To change the speed, press the 速聞き再生 (fast playback) button again.

*To suspend fast playback*  
Press **II**.

*To find track marks*  
Press **|<|** or **|>|** during fast playback.

*To switch to normal playback*  
Press **>**.  
To return to fast playback, press the 速聞き再生 (fast playback) button.

### Playing tracks repeatedly

See the illustrations in Japanese text (page 19).

You can play track repeatedly in three ways – all repeat, single repeat, and shuffle repeat.

Press the 再生モード (play mode) button while the recorder is playing an MD.  
Each time you press the 再生モード (play mode) button, the play mode indication changes as follows:

"(none)" (normal play)  
A whole disc (all the tracks) is played once.

"" (all repeat)  
A whole disc (all the tracks) is played once.  
  
" 1" (single repeat)  
A single track is played repeatedly.  
  
" SHUF" (shuffle repeat)  
All the tracks are played repeatedly in random order.

### Listening with other equipment

See the illustrations in Japanese text (page 22).

You can listen to an MD with your stereo system or record on a cassette tape, etc.

Connect the  jack of the recorder to a tape player or an amplifier with a line cable (RK-G134, or RK-G129, not supplied), and adjust the volume of the recorder around "6".

*To listen with a monaural player*  
Connect the RK-G135 line cable (not supplied) to the MIC jack of the source equipment.

## ►Editing recorded tracks

You can edit your recordings by adding or erasing track marks, or erasing tracks.  
Premastered MDs cannot be edited.

### Track marking a recording

See the illustrations in Japanese text (page 23).

You can add track marks so that you can quickly find and play from the marked position.

While the recorder is playing an MD, press the ト ラ ッ ク マー ク (track mark) button on the recorder at the point you want to mark.

A track mark is added and the track number will increase by one.

#### Note

The TRACK MARK button on the remote controller does not function during playback.

#### To add track marks while recording

See "Track marking while recording" (page 49).

#### To erase track marks

See "Erasing a track mark" (page 52).

#### Notes

- When you press ■ after adding a track marks, "Toc Edit" flashes and the recorder starts writing the new data to the MD. Do not move or jog the recorder while "Toc Edit" is flashing in the display.
- You cannot add track marks on an MD that is record-protected. Before adding track marks, close the tab on the side of the MD.

## Erasing a track mark

See the illustrations in Japanese text (page 24).

You can erase a track mark to combine the tracks before and after the track mark. You can erase regular track marks and special track marks in the same way.

- 1 While the recorder is playing an MD, press ■ to pause.
- 2 Find the track mark you want to erase by pressing ▶◀ or ▶▶ slightly.  
The track number and "MARK" appear in the display.  
For example, to erase the third track mark, find the beginning of the third track.  
"00:00" flashes in the display.
- 3 Press the ト ラ ッ ク マー ク (track mark) button on the recorder to erase the mark.  
The track mark is erased and the two tracks are combined.  
The number of the newly combined track will be that of the first track and the succeeding tracks will be renumbered.

#### To erase other track marks

Repeat steps 2 and 3.

#### Notes

- When you press ■ after erasing track marks, "Toc Edit" flashes and the recorder starts writing the new data to the MD. Do not move or jog the recorder while "Toc Edit" is flashing in the display.
- You cannot ease track marks on an MD that is record-protected. Before erasing track marks, close the tab on the side of the MD.

---

## **Erasing a track**

See the illustration in Japanese text (page 25).

Note that once a recording has been erased, you cannot retrieve it. Check the track number before erasing.

- 1 Play the track you want to erase.
- 2 Press the 消去 (erase) button while playing the track.  
"Erase OK?" and "PushErase" appear in the display alternately, and the recorder plays the selected track repeatedly.  
To cancel erasing, press ■.
- 3 Check the track number in the display and press the 消去 (erase) button again.  
The track is erased from the MD and the remaining tracks are renumbered. The recorder then starts to play the succeeding track. If you have erased the last track of the MD, the recorder pauses at the end of the preceding track.

**To erase other tracks**

Repeat steps 1 to 3.

**To erase a part of a track**

Add track marks at the beginning and the end of the part you want to erase, then erase the part.

**Notes**

- When you press ■ after erasing a track, "Toc Edit" flashes and the recorder starts writing the new data to the MD. Do not move or jog the recorder while "Toc Edit" is flashing in the display.
- You cannot erase a track on an MD that is record-protected. Before erasing a track, close the tab on the side of the MD.

---

## **Erasing a whole disc**

See the illustration in Japanese text (page 26).

You can quickly erase all the tracks and data of the MD at a time. Note that once a recording has been erased, you cannot retrieve it.

- 1 Play the MD you want to erase and check the contents of the disc.
- 2 Press ■ to stop.
- 3 While pressing the 消去 (erase) button, press the ●録音 (record) button.  
"AllErase?" and "PushErase" appear in the display alternately. Make sure it is the right disc to be erased.  
To cancel erasing, press ■.
- 4 Press the 消去 (erase) button again.  
"Toc Edit" flashes in the display. When erasing finishes, "BLANKDISC" appears.

**Notes**

- Do not move or jog the recorder while "Toc Edit" is flashing in the display.
- You cannot erase recordings on an MD with the tab open for protection. Before erasing, close the tab at the side of the MD.

## ►Power sources

You can use the recorder on dry batteries, house current, or a lithium ion rechargeable battery.

### Using on house current

See the illustration in Japanese text (page 27).

It is preferable to use the recorder on house current when recording for a long time.

Connect the DC IN 4.5V jack of the recorder to a wall outlet with the AC-E45L AC power adaptor (not supplied).

### Using on a lithium ion rechargeable battery

See the illustrations in Japanese text (page 27).

Before using the LIP-12 lithium ion rechargeable battery (not supplied) for the first time, charge it with the ACP-MZ60A battery charger (not supplied).

- 1 Attach the battery case (supplied).
- 2 Insert the charged battery LIP-12 (not supplied) into the battery case.

#### Note

You cannot charge the battery while it is in the recorder.

### When to charge or replace the batteries

When  flashes in the display, the rechargeable battery or the dry batteries are weak. Recharge the rechargeable battery, or replace the dry batteries. When the battery power is gone, "LOW BATT" flashes in the display and the power goes off.

## ►Additional information

### Error messages

If the recorder cannot carry out an operation, one of the following error messages may flash in the display window.

#### BLANKDISC:

you tried to play an MD with no recording on it.

#### BUSY:

you tried to operate the recorder while it was accessing the recorded data. Wait until the message goes out (in rare cases, it may take 2 -3 minutes).

#### CANNOT:

you tried to erase a track mark while playing the MD or at the beginning of the first track.  
you tried to erase a track mark to combine tracks the recorder cannot combine.\*

#### DISC ERR:

the recorder cannot read the MD (it is scratched or dirty). Reinsert the MD. If the same message still appears, replace the MD.

#### DISC FULL:

there is no more space on the MD (less than 24 seconds available in monaural).

#### Hi DC in:

the power supply is too high. Use the recommended power sources.

#### HOLD:

you tried to operate the recorder with the ホールド (hold) switch slid in the direction of the arrow. Slide back the switch.

#### LOW BATT:

Batteries are weak. Replace the dry batteries or charge the rechargeable battery.

#### NO DISC:

you tried to play or record with no disc in the recorder.

PB DISC:

you tried to record or edit on a premastered MD (PB means playback).

PROTECTED:

you tried to record or edit on an MD with the tab in the record-protect position.

TEMP OVER:

heat has built up in the recorder. Wait until the recorder cools down.

TR FULL:

there is no more space for new data. The MD cannot be edited any further. Erase unnecessary tracks before editing.

TRprotect:

you tried to record over or edit a track which has been protected from being recorded over.\*\*

\* If you have recorded or erased many times on the same MD, the data of a single track may be scattered throughout the MD. When the data is scattered in groups of less than 24 seconds long (in monaural), the recorder will not be able to combine the tracks.

\*\* Track-protected MiniDiscs – Some MD recorders will let you protect individual tracks from being recorded over. This recorder, however, does not offer this feature.